

次の4年、町田市6つの五・七・五

その他、全49個の政策提言!

くわしくはコチラ

小中学校23個! 保育、医療ケア児、障がい児7個!
妊娠・出産、子育て9個! 行財政・議会改革7個! その他多数!!



1 義務教育 なんてこんなに 金かかる!



憲法で義務教育は無償とされていますが、実際には標準服等の購入で中学入学時に10万円以上家庭の負担が発生する学校も…。経済的に困っている家庭が利用する就学援助の入学準備金は6万円。生活保護でも8万1千円のため、数万円単位で足りない事も珍しくありません。冬のセーターや夏のポロシャツも、高額な指定品でなくては着用不可とする学校もあります。被服費はじめ、保護者負担費の削減を進めます!

2 加害者の ためにも いじめは「出席停止」!



いじめ加害者である児童生徒の保護者に対し、市教委は「出席停止」を命ずることができます(学校教育法第35条)が、全国的にこの対応は避けられる傾向にあり、加害者が出席停止にならないことで、被害者側が学校に行けなくなったり、転校を余儀なくされています。取り返しのつかない事態の発生を防ぐためにも、持てる権限を全て行使した厳しい対応を求めます!

3 中学生 みんなが喜ぶ 給食に!



2024-25年度に、順次新方式の全員給食(各教室で盛り付け配膳)に!ですが、それまでは現在のデリ弁給食が続くため、喫食率の低さが課題のデリ弁改善への取り組みも必要不可欠。冬に低くなるおかずの温度、配膳の手間と時間、ご飯の量が選べないと言った課題の解決はもちろん、新方式移行前でも配膳室の整備が済んだ学校からデリ弁での全員給食実施などを求めます!(牛乳の有無選択は矢口の提案が実り4月から実現予定!)

4 預け先 なくて辛いよ 乳幼児!



もしもの時に頼れる親や親族がいない中での子育ては、大変辛いものです。全ての子育て家庭に「何かあったらここに頼れる」という場所や人が必要です。ベビーシッター利用への補助、一時保育のオンライン予約化などで解決しましょう! こうした保育サービスの充実は、「川上からの虐待防止」にも効果的。(川上からの虐待防止については「子どもの虐待はなくせる!」(けやき出版、共著)にも執筆しております!)

5 もっと産め? 上の子どうする 妊産婦!



「二人目も欲しいけれど、陣痛が来たときにすぐに駆けつけて上の子を見られる人がいないから、上の子が大きくなってから妊活しようかな…。でも、その頃には年齢的にも妊娠しにくいかも…。」このような理由で第二子以降の妊娠を躊躇したり、諦めたりする家庭は珍しくありません。頼れる親族がいない人も、里帰りできない人も、安心して妊娠出産できるような仕組み作りが必要です!

6 待機ゼロ 保育の質も 譲れない!



土地のない南地域などでは、園の新設ができず待機児童解消が困難…。都が全額費用負担してくれる待機児童向けのベビーシッター利用補助を、町田市でも導入すべき! また、待機ゼロは保育の質が担保されている前提のお話。私の提案後、市で作成を進める保育の質についてのガイドラインの活用や、無通告での立ち入り調査含む指導監査体制の強化など、矢口が立ち上げた子どもの事故予防議連も活用しながら取り組みを進めていきます!